

お手軽 プランターでコンポスト(堆肥)作り

生ごみを利用して自家製コンポストを作りましょう！
ごみも減らせて一石二鳥ですよ

生ごみ堆肥作りのプロ 林田さん

用意するもの
・プランター(形は替わらない)
・古い土
・生ごみ(土の容積の約20%)
・包丁
・シャベル
・布(プランターを覆うもの)
・洗濯バサミ

自家製堆肥で作った野菜の味は最高！

でも堆肥にする前に…
まずは生ごみを預らすことからはじめましょう！
家庭からできる可燃ごみの約4割が生ごみです。
食べ残しを少なくする工夫を考えてみましょう

調理は必要な量だけ作ろう！
在庫表を作って冷蔵庫に貼ろう！
残ったカレーやカレーうどん、残った肉じゃがやマカロニック、残ったハンバーグやミートソースなど、いろいろなリフォーム料理を工夫してみてくださいね！

詳しくは
リサイクルセンターの
生ごみ堆肥の作り方講座
にご参加ください

コンポスト助成金のお知らせ

練馬区では、家庭用生ごみ処理機とコンポスト化容器の使用を促進し、リサイクルの推進及びごみの減量を図るため、家庭用生ごみ処理機およびコンポスト化容器購入費の助成を行っています。詳しくは、練馬区清掃リサイクル課リサイクル推進係までお問い合わせください。(TEL: 5984-1097)

- 助成金額など
 - ①本体購入価格(消費税を含む)の半額
 - ②1世帯につき1台
 - ③助成金上限額2万円
 - ④送料・築別などの購入費は対象外
- 対象機器
 - ①電気などの動力を利用する機械式の生ごみ処理機
 - ②手動式の生ごみ処理機
 - ③生ごみを堆肥化するプラスチック製のコンポスト化容器
 - ④生ごみを堆肥化する木製のコンポスト化容器
- 申請手順

購入してから6ヶ月以内に、氏名が記載された領収書(単なるレシートは不可)を添付して申請してください

●募集対象者

- ①練馬区に住所を有する方
- ②家庭において発生する生ごみを処理するため、家庭用生ごみ処理機とコンポスト化容器を区内で継続して使用できる方
- ③同一世帯内に、申請日の属する年度を含む3年度以内に、助成金の交付を受けなかった者がいない方
- ④区が行うアンケート調査などのごみ減量・リサイクル事業に協力できる方
- ⑤区税(住民税および軽自動車税)を滞納していない方

リサイクルセンターのおすすめ本

リサイクルセンターでは環境に関する図書の開架と貸出しを行っています。ぜひご利用ください！

- 『ハチはなぜ大量死したのか』
ローワン・ジョイコブソン著 文春文庫
環境破壊とも呼ばれるミツバチ、日本でも個体数の減少が報告されています。本書はその謎に迫る一冊。解説は『驚愕の半島』の著者、福岡伸一氏。
- 『農業と食料のしくみ』
藤田幹彦著 日本実業出版社
自給率の懸念、遺伝子組み換え、フードマイレージと農業と食料に関わるホットイシューを取り上げて分かりやすく解説しています。しっかり勉強したいにお勧め。
- 『都会の百性です。よろしく』
白石好孝著 コモンズ
著者の白石さんは練馬区の農家さん。本誌にも取り上げている都会(練馬)の農業の魅力を農家の立場から書き尽くしています。
- 『地震の時の料理ワザ』
坂本真子著 柴田書店
巻にはいろいろな料理本がありますが、こちらからは、いざという時のための一冊です。備えあれば憂い無し。サバイバル料理本。
- 『おいしい節電レシピ』
野崎洋光著 東洋経済新報社
食材を無駄にしないのも、エネルギーを使わずに作るのもエコクッキング。プロの料理人が「節電」にこだわったレシピを紹介します。let'sエコクッキング!
- 『緑のカーテンの形を食べよう』
高山真子著 そとて
夏場、都会の緑を代表するようになったゴーヤやヘチマのカーテン、収穫のあとと調理に困っていませんか？お勧めレシピを伝えます。

<編集後記>
「ゆずりは」も今年で1周年を迎えました。取材で区内のあちこちを飛び回り、改めて練馬の環境の良さを実感しています。先年のテーマは「農と食」。富強してゆくに農地と軒先販売所の多さに驚きます。「えっ、こんな住宅街に農地があるの?」と思わず足をとめてしまったり、軒先販売所で買い物をする機会も増えました。今回紹介したような農業の持つ地産的な効用や土に触れる楽しさを見直して「都市農業のりま」がブランドにならうといいなと思います。

それぞれに関するお問合せはホームページをご覧ください

<編集・発行・お問合せ:練馬区立リサイクルセンタープロジェクト>

- 豊玉リサイクルセンター 〒176-0011 練馬区豊玉上2丁目22番15号
電話:5999-3196 FAX:5999-2888 e-mail:toyotama@career-rscoop
- 吉日町リサイクルセンター 〒179-0074 練馬区吉日町2丁目14番16号
電話:3926-2501 FAX:3926-2505 e-mail:kasazhor@career-rscoop
- 関町リサイクルセンター 〒177-0051 練馬区関町北1丁目7番14号
電話:3594-5351 FAX:3594-5389 e-mail:sekimach@career-rscoop

ねりま環境・リサイクル情報誌 ゆずりは

vol.4 発行:練馬区立リサイクルセンタープロジェクト
発行月:平成24年(2012年)12月

I ♥ 農業

練馬で楽しもう! イマドキの農業

採れたて野菜がおいしい!
練馬は産地が近くにあり、新鮮な野菜が食べられます。農家の軒先販売、農道の直売所を合わせて、実に生産の6割ほどが販売されています。地域で採れたものが地域の食卓に届く。これはとっても緑豊かな環境です。

農地があると災害に強い!
意外と知られていないのですが、農地には防災の役割があります。地震時における避難場所としての活用や、災害時の延焼防止空間としての役割、そして新鮮野菜の供給などの機能が期待されています。

農地は癒しのスポットだ!
収穫シーズンには青々とした新鮮な野菜。それ以外の時期にも土の香りがする農地は、私たちの生活に潤いを与えてくれます。近くの農地に入ってみましょう(無断はダメですよ)。温かく、ふかっとした土の感触が楽しくなること請け合いです。大人も子どもも泥んこになるのが大好きなんです。

練馬は農を楽しむイベントがいっぱい!
秋の農業祭、ブルーベリー摘み体験、練馬大根引っこ抜き競技会という練馬ならではのイベントもあります。練馬大根は普通の青首大根と違い中太で長いので、引っこ抜くにはすごい力が必要。参加者は帯巻苦悶ですが、競技は大盛り上がりです。競技で折れた大根も、もったいないので学校給食で使用してもらっています。また、折れた大根を使って、ねりまにも認定された練馬大根ドレッシングを作っています。大根だけでも話題が尽きません(笑)。

「練馬の農」への愛を語る
東京おそば農業協同組合 渡邊さん

大根引っこ抜き大会

野崎洋光 著

「おいしい節電レシピ」

Love 練馬の農

